

数理・データサイエンス・AI教育 プログラム取組概要

1. 教育プログラムで身に付けることのできる能力

- データや統計学，機械学習，AIについての基本的な知識を身につけ，適切な利活用を行うことができる。
- 必要なデータを抽出し，分析のために整理・加工・変換等を行い，データセットを作成することができる。
- 分析目的に応じて，適切な分析手法，データ可視化手法を選択できる。
- データを活用した一連のプロセスを理解し，データ利活用の流れが理解できる。
- 機械学習，深層学習などの基礎的な概念をプログラミングを通して理解できる。

2. 修了要件と授業科目

- 以下の3科目（3単位）を履修し，修得すること。
 - 情報科学（1単位：1年次）
 - 統計学（1単位：2年次）
 - 統計演習（1単位：2年次）

3. 授業の方法

- 本プログラムは，1年次の必修科目の「情報科学」，2年次の必修科目の「統計学」と2年次の選択科目の「統計演習」で構成されている。いずれも対面授業で行い，学生のICTの実習環境を整備していくとともに，他の科目での応用が可能なように学生のICTの活用能力を向上させることを目的としている。

4. 実施体制

- 医療看護学部カリキュラム委員会では，学生の学習目的の達成を目的としたカリキュラム立案等を行っている。このプログラムにあたっては，ワーキンググループ（数理・データサイエンス・AI教育プログラムWG）を立ち上げ，プログラムの内容の改善と進化を行う体制をとっている。